

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

9月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420

ホスピス緩和ケア病棟における質向上の取り組みに関する認証制度

緩和ケア病棟は、がんなどの病気に対し病気自体の治療を目的とするのではなく、身体症状や心の痛み、社会的な問題、ご家族の悩みなどに対するケアを主体とした病棟です。出来る限り患者さまやご家族が快適な生活を送れるように、多職種が一丸となりサポートしています。

当センターの緩和ケア病棟は、2016年から開始された日本ホスピス・緩和ケア協会の定める「緩和ケア病棟における質向上の取り組みに関する認証制度」に参加し、認証を受けています。2年毎に受審し、2022年の更新でも前年に引き続き、3項目ともA評価にて認証を得ることができました。

この制度の目的は、第1にホスピス・緩和ケア病棟の施設や運営状況と医療およびケア提供の状況を社会に公開する姿勢をもつこと。第2にホスピス・緩和ケア病棟に勤務するすべてのスタッフが参加して自らのケアの質を評価し、多職種による話し合いを通じて、自らケアの質向上に取り組む姿勢をもつこと。第3に第三者と遺族による評価を受けて、その指摘を受け入れる謙虚な姿勢をもつこと。とされています。

具体的には、①施設概要・利用状況調査、②自施設評価共有プログラム、③遺族調査への取り組みの全てを実施していることが認証基準となります。認証条件である自施設評価プログラムへの取り組みとして、これまでのケアをカンファレンスで振り返り、緩和ケアに関わるそれぞれの職種が専門性を発揮し、ケアの質の向上に努

てきました。また遺族調査では、ご遺族からの率直な声を聴くことができ、これからのケアに生かしていくことができると感じました。

今後も緩和ケア病棟は「一人一人の『ありのまま』を大切にします」を病棟理念に掲げ、地域社会から信頼され、患者さまやご家族に寄り添い支援できるよう更なる質の高い緩和ケアの提供を目指していきたいと思います。

(文責：緩和ケア病棟師長 江藤 千鶴)



基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

- ホスピス緩和ケア病棟における質向上の取り組みに関する認証制度・・・P 1
- 肝がん撲滅運動が開催されました …………… P 2
- 未来の看護師から活力を …………… P 2
- 医療最前線 (150) …………… P 3
- 外来担当医表 (9月) …………… P 4

2023年度 肝がん撲滅運動が開催されました

7月30日、日曜日に当院で市民公開講座“肝がんゼロを目指して”が行われました。

これは、熊本県と熊本大学病院が共催で毎年行っているイベントです。

県内6カ所（熊本市、八代市、玉名市、人吉市、天草市、山鹿市）で脂肪肝とウイルス性肝炎、肝硬変、肝臓がんについて同日・同時刻に講演しています。

今年は司会に当センター事業管理者の別府 透先生、講師に熊本大学・消化器内科の長岡 克弥先生と私、本原のメンバーで講演させていただきました。

肝臓は非常に強い臓器のため、症状が出るときはすでに病気が進んでいることが多く、定期的に検診や病院受診されている方は肝機能障害で発見することができます。元々、お元気な方でも、自分の肝臓は大丈夫かな？と思われるなら一度検査を受けることで安心できますし、もし

も悪い結果でも早期治療に結び付きます。

講演に来ていただいている方は、自分の肝臓の状態を把握している方がほとんどですが、講演を聞けなかった、または講演があることも知らない方は要注意です。

毎年、7月の最終日曜日に行っていますので、一度も肝臓について話を聞いたことが無い方、ご家族やご友人で肝臓が悪いのではないかと心配される方がいらっしゃいましたら、皆さまお誘い合わせの上、お話を聞いてもらえると肝がんゼロにつながると思います。

今回講演が聞けなかった方々へ朗報です!! 9月9日（土）にも当センター主催の市民公開講座が予定されています。今年のテーマは『肝がんの予防と治療』ですので、興味がある方は是非ご参加ください。

（文責：消化器内科医長 本原 利彦）



未来の看護師から活力を

令和5年7月26日の午後から当センターにおいて、熊本県看護協会主催の「高校生の看護一日体験」が行われ、4校の高校生9名が参加されました。

私たち看護師と同じユニフォームを着用し、嬉しそうにしている高校生は、キラキラしていて新人看護師のようでした。これまでテレビでしか観たことがなかったCOVID-19の対応時に使用しているPPEを着用してもらいました。感染予防対策のため、病棟見学を行うことはできませんでしたが、PPEを装着しての足浴の実施と、患者体験として車椅子とストレッチャー移動の体験をしてもらいました。

PPE装着は10～15分程度でしたが、暑くて汗は出るし、会話も声が聞き取りづらく、TVで観ている大変さ以上に「こんな服着て無理です」と、現場の大変さを肌で感じることはできたのではないかと思います。

車椅子とストレッチャー移動体験では、「怖かった」

「移動方法も患者の安全・安楽を考えて対応していることがわかった」と感想がありました。

体験の最後には「さらに看護師になりたいという思いが強くなりました」という感想をいただきました。新型コロナウイルス感染症の流行で疲労困憊し看護師離職のニュースが流れている中、私自身、高校生のイキイキとした表情で「看護師になりたい」という言葉に励まされ、うれしい気持ちと活力をもらった時間となりました。また、初心に返り看護のすばらしさや、やりがいを改めて感じさせてもらいました。

可能性をたくさん秘めた高校生との出会いは新鮮で、来年もまた看護の実践を体験してもらうことで、看護のすばらしさを伝えていきたいです。

ぜひ、看護の道へ進んでくれたらなという気持ちでエールを送ります。

（文責：4階病棟看護師長 瀧上 麗美）



医療最前線 (150)



リスフラン関節損傷

整形外科医師

湯本 みずほ

はじめに、2023年4月より山鹿市民医療センター整形外科に赴任しました湯本みずほと申します。外傷診療を中心に行なっておりますが、整形外科医では少ない女性としての立場も生かした診療を行なっていきたいと思っております。

今回はリスフラン関節損傷に関して解説させていただきます。

【概要】

リスフラン関節は遠位の足根中足関節のことで、それぞれの楔状骨と第1～3中足骨ならびに立方骨と第4・5中足骨の関節で形成されており、足部のアーチ構造で重要な役割を担っています。

リスフラン関節損傷は捻挫などの比較的低エネルギー損傷による軽微な離開から、転落・圧挫による高エネルギー損傷に至るものまで存在します。脱臼骨折として診断しやすい例もある反面、足部捻挫として見逃され、陳旧例のリスフラン関節損傷になることも少なくなく、その場合、足部の遺残変形や慢性的な疼痛が生じる場合があります。診察時は本疾患を疑って鑑別診断をすることが重要です。

【診断】

足部の腫脹・疼痛が強いことが特徴です。中足部に

圧痛を認め、前足部を握ると中足部に疼痛が放散します。

単純X Pでは第1楔状骨-第2中足骨基部に離開を認めます。できるだけ荷重時の足部X Pを撮影し、健側と比較することが重要ですが、受傷初期は疼痛で荷重による単純X Pを撮影が困難なことも多いです。その場合、透視下にストレス撮影を行う場合もあります。また、CTにより骨折の程度や骨片の転位、MRIにおける靭帯損傷などを含めた軟部組織評価を行うことが重要です。

【治療】

関節に離開を認めるものは基本的に手術療法が推奨されます。手術療法はポジショニングスクリュー固定の他、骨折次第ではロッキングプレートを使用します。近年はスーチャーボタン等の軟部組織への影響が少ないデバイスも増えてきています。

術後は6週間ほどの免荷期間を要しますので、患者さまに丁寧に説明し、理解を得ることも重要です。

足部を痛がる患者様で骨折はないけれども、痛みが強い場合やなかなか痛みが良くならない場合、リスフラン関節損傷が隠れているかもしれません。診断に苦慮される場合はいつでも当センターにご相談ください。今後ともよろしくお願い申し上げます。

原稿を募集いたします

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400～800字程度を基準とします。

送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

ホームページをご利用ください。病院の最新情報をご覧になれます。

<http://yamaga-medical-center.jp>

外来担当医表

9月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※後藤 由比古	※濱田 昌平	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	宮本 英明
消化器内科	上野 茂紀	竹野 洋司	本原 利彦	上野 茂紀 竹野 洋司	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 大庭 圭介	※小國 哲也 担当医	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	横田 秀峰 中原 達秀 山元 雅典	工藤 智志 中原 達秀 山元雅典 / 湯本みずほ	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰 湯本 みずほ	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏 織田 枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 辛島龍一 / 織田枝里	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 尾崎 宣之
乳腺外科	—	※富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	—	※原田 成美	—	※神波 大己 教授	—
小児科	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)	※石井 真美 9:00~16:30まで 予防接種(午後)	※石井 真美 9:00~16:30まで	※徳永 郁香 (小児一般・ アレルギー外来)
セ ン タ ー 感 覚 器	耳鼻咽喉科	—	非常勤医師	—	非常勤医師
眼 科	木山 優	木山 優	木山 優	木山 優	木山 優
産婦人科	※片淵美和子 (午後)	※片淵美和子 (午後)	—	非常勤医師 *片淵美和子(午後)	非常勤医師
緩和ケア内科(予約制)	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里	堀 和樹	織田 枝里
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	吉岡 明子 / 消化器内科医	外科医(午前) 担当医(午後)
健 診	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

◎診療時間は8:30開始で11:00(小児科は16:00)受付終了となります。
 当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。
 ※ 非常勤医師です。 * 第2、第4のみ診療となります。

特殊・専門外来

9月

名 称	担当医等	実 施 日	診察場所
外来化学療法(予約制)	担 当 医	毎週 火曜・水曜	各診療科
	宮本 英明	毎週 金曜(がん薬物療法専門医)	
禁煙外来(予約制)	坂田 和子	毎週 月曜(午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜(午後)	
小児科予防接種	※石井 真美	毎週 水曜(受付時間13:30~15:30)	
ストーマ外来	担 当 医	毎月 第3水曜(午後)	Bブロック
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※片淵美和子	9/4(月)、5(火)、11(月)、12(火)、14(木)、19(火)、25(月)、26(火)、28(木)	
P E G 外 来	担 当 医	毎月 第2水曜(午後)	
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2・第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟
セカンドオピニオン外来(予約制)	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
 ◎急患の場合は、この限りではありません。
 ◆注意：学会等の都合で変更になる場合があります。
 ◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
 TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420
<http://yamaga-medical-center.jp>